

人口等の推移

43年8月1日現在

総人口 10,463 人
男4,886人女5,577人

世帯数 3,197戸



No. 3

昭和43年

8月1日

蒲生町役場

北地区大火とその 対策状況について

とじると便利です



町内あげての焼跡整理

六月八日午後三時十五分頃発生いたしました北地区の大火は、部落の方は勿論、町あげての必死の消火にもかゝわらず、約一時間半にわたって悪魔のように荒れ狂い、折からの風に煽られて、たちまちのうちに

蒲生中学校下の一角を総なめにし、二十七棟の全半焼を生じ十七世帯五十二人が被災されたのであります。町といたしまして、鎮火と同時に役場内に北地区火災対策本部を設置し、町議会の全面的な協力により

私達はこのような大火になつた原因を考えてみますときに、風があつたこと、道路が狭かつたこと、水利現場の使用が不可能となつたことなど、多くの原因があつたのであります。これらの原因と問題点を一つ

罹災者に対する救済対策に全力を注いで参つたのであります。その間消防団、北地区公民館を中心に各地からの自主的な協力により、焼跡の整地作業や、婦人会による炊き出しがあり、火災後の対策が順調に実施できましたことを心から感謝申し上げます。

更には各地区公民館を中心に、町外からの見舞や、多額の義損金、物資の数々が寄せられております。これなど見舞金の配分については、その都度配分委員会を設けて公平を期しつつ且つ迅速な配分が終るよう心がけて参りました。

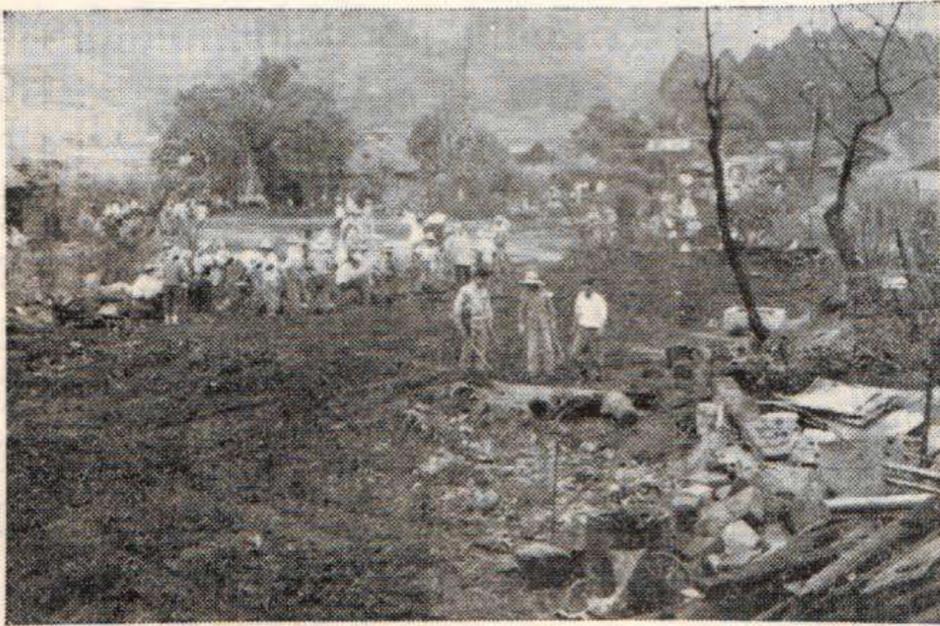
罹災者の方々は、災害の悲運にもめげず皆様方のこの温いお志を支えとして、焼跡に復興の意欲をみなぎらせておられます。

七月二十五日までに火災見舞金など受けましたものは、現金総額一〇四七・

一つ充分に検討して、これからの消防対策に万全を期するよう努力していかねばならないと考えます。

以上火災対策の状況と、罹災者の復興状況の一端を簡単に申し上げます。お礼の言葉にかえたいと存じます。

尚焼あと整地作業には、町のブルドーザー、トラック、のほか税所建設、蒲生運送、蒲生農協、緒方砕石等民間の車二〇台が自主的に協力された事を報告します。



惨憺たる大火、焼跡

6月8日発生 北地区火災見舞金名簿

43・7・25現在

御 芳 名	寄付額	御 芳 名	寄付額
京極パチンコ店	1,000 ^円	小山俊介	1,000 ^円
茂谷自動車修理工場	20,000	茂谷正義	20,000
鹿児島市谷山	10,000	徳重次雄	10,000
山田校区婦人会	3,000		
山村実治	10,000		
蒲生町役場課長一同	20,000		
蒲生町議会議員一同	50,000		
蒲生町役場職員一同	35,000		
松下兼武	10,000		
小山田政弘	10,000		
蒲生町役場助役,収入役,教育長	15,000		
別府景隆	1,000		
迫水久常	20,000		
鷹プラスチック株式会社	5,000		
始良町長	10,000		
始良伊佐郡町村会	10,000		
東京都杉並区清水町	5,000	池田のぶ	5,000
吉田村	10,000		
加治木町長	5,000		
始良地方福祉協議会	2,000		
隼人町	5,000		
自由民主党蒲生支部	3,000		
県林業試験場職員一同	2,000		
県町村会, 県町村議会議長会	10,000		
幽栖寺	10,000		
幽栖寺仏教婦人会	5,000		
始良清掃社	3,000		
始良町議会議員事務局一同	5,000		
別府税務会計事務所	2,000	別府忠寛	2,000
始良町民一同	20,000		
県農業協同組合中央会	20,000		
県信用農業協同組合			
県経済農業協同組合連合会			
県畜産農業協同組合連合会			
県共済農業協同組合連合会			
小山田編物教室一同	680		
		県林業試験場職員一同(追加分)	3,000 ^円
		鹿児島銀行	20,000
		蒲生町社会福祉協議会	45,000
		蒲生町農協職員組合	10,000
		隼人町東郷 有川貞栄	5,000
		加治木農業改良普及所	5,000
		蒲生町医師会	50,000
		瀬戸市陶原町 光和陶器株式会社	10,000
		日高広為	20,000
		中島州嶽	10,000
		鹿児島県町村会職員一同	2,500
		鹿児島県市町村職員長期研修生一同	4,500
		池田パン従業員一同	4,600
		鹿児島市原良町 小山田政彦	1,000
		吉野町 福永末治	
		上原建設 上原範雄	5,000
		鹿児島市甲東中学校 加冶金作	2,000
		野田典男	2,000
		佐多忠隆	5,000
		蒲生高校 原富貴子	1,005
		湯川原 精木辰夫	2,500
		漆校区婦人会	3,000
		火之宇都 折田為一	2,000
		指宿市大牟礼西 中山ふじ	1,000
		西浦地区公民館	4,300
		与論警察官派出所 立園清治	2,000
		鹿児島市宇宿町 佃成孝, 洋子	1,000
		辻 清造	1,000
		八幡地区公民館	42,500
		蒲生町老人クラブ連合会	2,000
		鹿児島市北里薬局内 馬場園智昭	1,000
		中種子町納管 蛭牟田長治	1,000
		蒲生町婦人会	25,000
		福応寺同心仏教婦人会	5,000

このほか被災地の楠田部落では罹災者以外の家庭では別途各戸1,000円又は米相当量を直接見舞されている。

御 芳 名	寄付額	御 芳 名	寄付額
新留地区公民館	4,000 ^円	蒲生町青年団	1,400 ^円
川東地区 "	23,800	米丸地区公民館 (追加分)	1,240
中央B地区 "	47,200	東屋敷スエノ	3,000
北地区 "	16,600	大阪市域東区西鴨野 上福元満	500
追地区 "	24,150	中央B地区公民館 (追加分)	300
大山地区 "	15,510	<u>大阪市西淀川不二サッシ楠会一同</u>	2,000
下久徳地区 "	11,951	鹿児島市加治屋町 有馬虎夫商店	2,000
米丸地区 "	10,120	蒲生中第16会卒業 3年1組代表 田上一美	7,300
谷口慶吉	10,000	溝辺町婦人会会長 鳥丸フヂ	3,000
福島蓮城	5,000	串木野市羽島中学校生徒会職員一同	4,207
蔵丸養鶏組合	5,000	千葉市山崎製パンKK 堀口勝子	200
漆地区公民館	10,020	匿名	2,000
川東地区公民館 (追加分)	800	吉松町長	5,000
高城久	1,000	吉松町議会	2,000
石原研二	2,000	吉松町婦人会	5,000
日本社会党蒲生支部一同	3,000	吉松町青年団	1,000
安田タクシー運転手一同	5,000	隼人町婦人会	5,000
中央A地区公民館	64,200	<u>名古屋市大楠会並びに蒲生町 出身者一同</u>	17,900
中馬辰猪	20,000	蒲生町出身加治木町住者一同	3,037
蒲生高校2年代表 竹下	816	三船小学校生徒一同	2,625
北地区公民館 (追加分)	200	蒲生中第16回卒業3年1組 一同代表 田上一美 (追加分)	2,500
漆地区公民館 (追加分)	2,000	牧園町婦人会	3,000
竹内病院	10,000	霧島町婦人会	2,000
大阪府東住吉区加美福井戸町 村田高吉 外11	7,700	栗野町婦人会一同	5,000
八幡地区公民館 (追加分)	500	加治木婦人会一同	5,000
大阪市東区元伊勢町 矢沢義二	10,000	蒲生町労働組合評議会	5,150
" 矢沢方 久目清己	1,000		
久末地区公民館	8,580		
別府川漁協役員一同	5,000	合 計	1,053,091

火 災 見 舞 物 品 名 簿

御 芳 名	寄贈物品名	数 量	御 芳 名	寄贈物品名	数 量
茂谷正義	焼耐	2本	池田パン	パン	300個
武田ポンプKK	"	3本	日本赤十字社 鹿児島支部	毛布	26枚
鹿児島県	毛布	25枚		ワイシャツ	20枚
	作業ズボン	20枚		洗面具	15個
	モンペ	30枚		スカート	9枚

御芳名	寄贈物品名	数量	御芳名	寄贈物品名	数量
共同募金会	日用品	13個	八幡地区公民館	白米	44升
森本豊店	畳・ゴザ	10枚		衣料品	1点
別府景隆	衣料品	1箱	新留地区公民館	白米	45,5升
白男上婦人会	オニギリ	米6升分		衣料品	1点
小川内 "	"	56人分	川東地区公民館	白米	124,5升
岩戸 "	"	米6升分		衣料品	15点
城下 "	"		中央B地区公館	白米	90升
北上 "	"			衣料品	89点
北下 "	"	2回分	北地区公民館	白米	109升
北中 "	"	"		衣料品	1点
三角重雄	"	60個	大山地区公民館	白米	53升
小山田電気	携帯電灯	17個	下久徳地区公民館	"	122升
九配加治木営業所	焼酎	3本	米丸地区公民館	"	134,5升
	タオル	15本	漆地区公民館	"	285升
小山田編物教室 一同	女セーター	1着		衣料品	13点
	ハブラシ	17本	日新農畜 新田	"	29点
	練ハミガキ	7本	カネヨ正油社長 吉村稻男	正油	17升
桑幡景治	白米	10升		味そ	17キロ
白男地区公民館	"	148,5升	蒲生町婦人会	毛布	17枚
谷口アイ	衣料品	1包		洗たく	15組
小川内地区公民館	白米	80升	中央A地区公民館	白米	39,5升
湯川原 精木辰夫	"	7升		衣料品	115点
西浦地区公民館	"	135升	岩元呉服店	"	16点
山口佐一郎	衣類	1包	久末地区公民館	白米	48,5升
迫地区公民館	白米	76,5升		衣料品等	6点

罹災者一同より皆様へ

皆様方には酷暑にもめげず御健勝にて御過しの事とお慶び申し上げます

私達若い人も年寄も去る六月八日を境に第二の人生の出發をしてから二ヶ月になります 其の節は並々ならぬ御厚情と身に余る激励御鞭撻を戴きまして感謝の言葉は筆紙に盡しがたく只々心から御礼申し上げるのが精一杯で御座います 十五世帯二十七棟が一瞬にして灰になり全くの裸一貫二、三日は只ぼう然としていました。今からどおしたらいいのかどんなにして家を建てようかといろいろ考へる時頭が狂いそう涙も出ない毎日を、なりも、ふりも構はず歯をくいしばって努力して来ました。そして今何んとかようよう草も木もなはいさくばくたる赤土の焼け後になんとか自力で家らしい家が建ち初めています。

罹災者一人は言いました。なぜ、我々はこんなに苦しまねばならないのだろうか、何とか方策はないものだろうか、それは私達全員が強く訴へる叫び声なのです。又学校に行く子供が言いました。薬家でいいから早く家を作って下さい、勉強が出来ないと、罹災者は心で泣いたと思います。此れでいいものでしょうか私達は声を大にして強く天に訴へ叫びたい。家は出来つつあります。だが、今からが大変なのです。現実には厳しく結核頼りになるのは、同じ苦しみを受けた私達だけです。互いに手を取り合い緊陣一番、此の困難をふみ越へて皆様方の御厚情御援助に報いるべく頑張つて行きます。誰かの言葉に「冬来たりなば春遠からじ」とか、いつかは私達にも鳥唄い爛漫の春がおとづれ青い鳥が舞い込む事を念じつつ、町報を御借りして皆様方に心から感謝の言葉を申し上げます。

蒲生町楠田罹災者一同